

報道関係者各位

2013年10月7日
株式会社リビジェン

卒論制作経験のある社会人へアンケート調査

「卒論と就活の両立は可能だと思う」約76%が回答

スマートフォンユーザーに特化したマーケティングリサーチ事業を展開する株式会社リビジェン（URL：<http://www.livigen.co.jp>、本社：東京都港区、代表取締役：孫 尚均）は、全国の20代30代の社会人一般男女500人を対象に、「卒業論文」についての調査を実施しました。

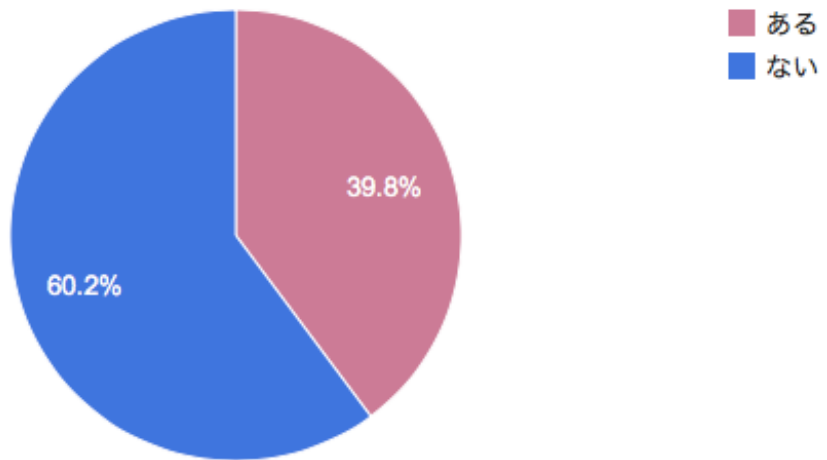
【調査結果要約】

- ◆約6割が卒論を作成した経験がないと回答
- ◆卒論制作に本格的に着手した時期、最終学年の10月以降との回答が約3割
- ◆卒業と就活の両立、約76%が可能と回答

【調査結果詳細】

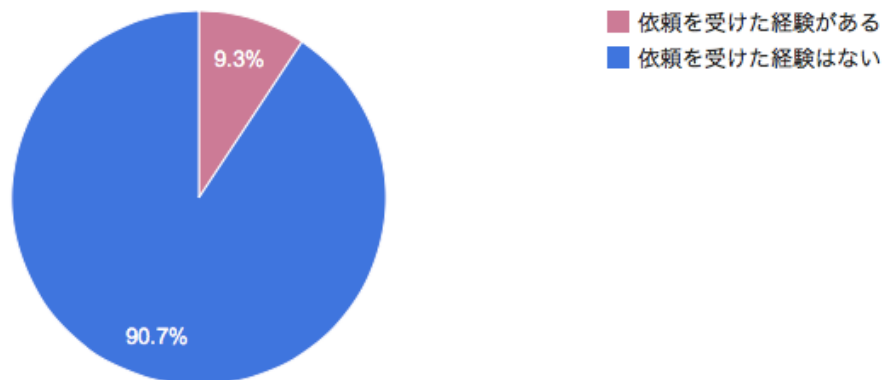
- ◆ 卒論を制作したことがあるか質問したところ、「ない」は60.2%となりました。
「ある」は39.8%となりました。

あなたは卒業論文を作成したことがありますか？



- ◆ 卒論で使用するアンケートの回答を友人・知人から依頼を受けた経験があるか質問したところ、「ある」は9.3%となりました。「ない」は90.7%となりました。

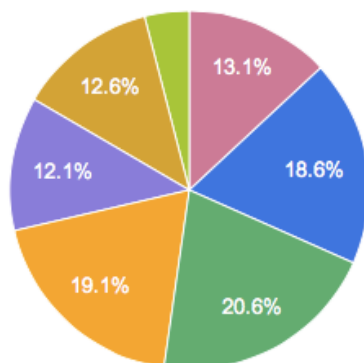
卒論で使用するアンケート回答を友人や知人から依頼を受けた経験はありますか？



以下、卒論制作経験者(199人)の回答

- ◆ いつから卒論制作に本格的に着手したか質問したところ、最多は「最終学年の6～7月頃から」で20.6%となりました。次いで、「最終学年の8～9月頃から」が19.1%、「最終学年の4～5月頃から」が18.6%、「最終学年に上がる前から」が13.1%となりました。10月以降着手については、「最終学年の12～1月頃から」が12.6%、「最終学年の10～11月頃から」が12.1%、「最終学年の2～3月頃から」が4%となりました。

あなたはいつから卒論に「本格的」に着手しましたか？



- 最終学年に上がる前から
- 最終学年の4～5月頃から
- 最終学年の6～7月頃から
- 最終学年の8～9月頃から
- 最終学年の10～11月頃から
- 最終学年の12～1月頃から
- 最終学年の2～3月頃から

- ◆ 卒論制作でとくに苦労した点について質問したところ、以下の回答が挙げられました。

「部活をやりながらだったため、時間が少なかった点」 (29歳男性)

「論文が長いので、最初の書き出しと、終わりで論旨を矛盾させないこと。」 (25歳女性)

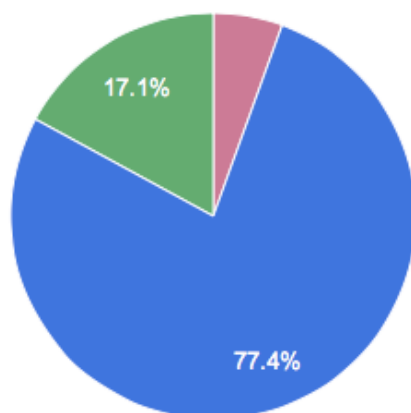
「調べた物に自分の意見を入れてまとめあげること！！」 (26歳男性)

「テーマを教授が認めてくれず、全く違うテーマにしたこと。」 (39歳男性)

「文章としてまとめるとき。どうすればうまく言い回しができるかなど考えるのが大変でした。」 (23歳女性)

- ◆ あなたの卒論はインターネット上にあがっているか質問したところ、「あがっている」は5.5%となりました。「あがっていない」は77.4%、「分からない」は17.1%となりました。

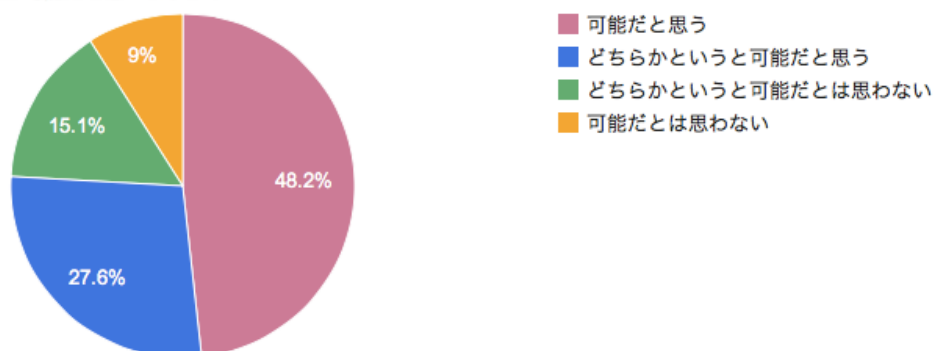
あなたの卒論はインターネット上にあがっていますか？



- あがっている
- あがっていない
- 分からない

- ◆ 卒論と就活の両立は可能かどうか質問したところ、「可能だと思う」は 48.2%、「どちらかというとも可能だと思う」は 27.6%となりました。「どちらかというとも可能だとは思わない」は 15.1%、「可能だとは思わない」は 9%となりました。

卒論と就活の両立は可能だと思いますか？



- ◆ 前述の質問に対し、その理由について質問したところ、以下の回答が挙げられました。
 - ・「可能だと思う」と回答した人からは「時間はたくさんあったから。四年生はほとんど授業ないはず」（32 歳女性）
 - ・「どちらかというとも可能だと思う」と回答した人からは「就活にかかるコストをしっかりと調整すれば大丈夫だとおもう。今は少しコストの掛け方がおかしいのでは」（36 歳男性）
 - ・「どちらかというとも可能だとは思わない」と回答した人からは「実験など、時間に融通の聞かない卒論だと、就活でも会社の都合に合わせなくてはいけないし、なかなか時間が合わなかったりするから。」（22 歳女性）
 - ・「可能だとは思わない」と回答した人からは「卒業論文にリンクしている業界なら可能だと思うが、特に文系なんかはダメだと思う」（31 歳男性）
- ◆ 卒論に取り組んでいる後輩へアドバイスをお願いしたところ、以下のアドバイスが寄せられました。

「出来るだけ早く取り組み、先生方から添削をたくさんしてもらった方が効率が良いです。」（24 歳女性）

「コピペはするな」 (35 歳男性)

「学生生活の集大成の卒業論文、精一杯取り組んで、その証を残せるようがんばってください。」 (37 歳女性)

「研究職につく人でなければ、将来的に仕事で卒論テーマを使う人は少ないと思うので、提出までのプロセスを大切にしてみると良いかも。」 (29 歳女性)

「こんなに長い文章を自分で書き上げるのは最初で最後。完成して本になったときの達成感は半端じゃありません。」 (23 歳女性)

【調査概要】

調査手法：スマホリサーチ (スマートフォンを使用したインターネット調査)

調査対象：全国の 10 代 20 代の社会人一般男女 (スマートサーベイモニター会員)

有効回答数：500 サンプル

調査期間：2013 年 10 月 7 日 9:23～同日 14:15

調査地域：全国

実施期間：株式会社リビジェン

【株式会社リビジェンについて】

株式会社リビジェン (本社：東京都港区、設立：2012 年 6 月 15 日、URL：<http://www.livigen.co.jp>、代表取締役：孫 尚均 (そん なおひと)、資本金：5,400 万円) は、スマートフォンユーザーに特化したマーケティングリサーチ事業を展開しています。スマートフォンの「即時性」を活かした、リアルタイムなプロモーション施策と組み合わせたリサーチや、PC を使用したネットリサーチでは回収が難しいといわれている若年層へのリサーチに強みをもっています。

【本件に関するお問い合わせ先】

本リリースに関するお問い合わせや詳細な調査資料提供をご希望の方は、下記までご連絡ください。

担当：株式会社リビジェン 広報担当 室谷 (むろや)

お問い合わせフォーム <http://www.livigen.co.jp/contact.html>